

山への避難を訴えた児童がいたことについて

平成23年5月の聞き取り調査で、市「山に逃げようと言った子はいたか」児童「はい、いました」というやりとりがあった。聞き取り調査当時にも、調査終了後間もない時期にも児童は同じ証言をしている。市教委が作った聞き取り調査報告書には記載はなく、調査メモは廃棄した。亡くなった友達のことを懸命に話した児童達の証言がなかったことにされたままである。

	市教委の説明・コメント	備 考
H23. 6. 4	第2回説明会 『ここって海沿いな』という女子、『山さ逃げよう』という男子がいた	聞き取り調査をもとにしたという説明だった。(そういう証言があったということ)
H24. 3. 18	第4回説明会 (そのような事実は)市教委としてはおさえていない。	「山へ逃げようと言った子どもがいたと聞かすが、ほんとうか」という質問に対して。
H24. 7. 8	第5回説明会 6月4日に説明しているのだから、市教委は「山への避難を訴えていた子はいた」という認識をもっていた。	その根拠は説明できず。 聞き取り調査での児童の証言にはないと回答。
H24. 7月	取材に対し 『ここって海沿いな』という女の子」と書く と、次は『山さ逃げよう』という男の子」と書きたくなるものだ」と回答。	
H24. 8. 26	第6回説明会 山への避難を訴えていた子はいたが、聞き取り調査ではそういう証言をした児童はいないと回答。	5月頃、一人の保護者がそう言っていたので6月4日にそう説明した。 (教頭先生からの情報) ※なぜ7月に答えられなかったのか。
H24. 9月	保護者に対し 「山に逃げようという子どもがいるいないは大して重要なことではない」と話す。	



説明会中の写真：山へ逃げようと言った児童がいたという証言について問われたときの様子。
口の前に指をあてるのは考え事をするときの癖だと弁明。